



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 稲谷 和樹 TEL 06-6233-2636
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,900	5.4	195	△23.3	206	△22.7	246	46.3
2026年3月期第1四半期	4,650	△2.1	254	20.3	266	21.6	168	26.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 343百万円(193.7%) 2026年3月期第1四半期 116百万円(△32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	31.84	—
2026年3月期第1四半期	21.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	11,185	5,126	45.8	663.46
2026年3月期	11,011	5,137	46.7	664.79

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,126百万円 2026年3月期 5,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,267	6.4	1,439	8.1	1,375	6.0	972	13.9	125.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ファインケメティックス

(注) 連結子会社であった株式会社ファインケメティックスは、2026年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	7,850,000株	2026年3月期	7,850,000株
2027年3月期1Q	122,736株	2026年3月期	122,736株
2027年3月期1Q	7,727,264株	2026年3月期1Q	7,727,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の継続を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安の進行や資源価格の高騰による物価上昇が継続し、個人消費には足踏み感がみられるほか、海外経済の減速懸念や地政学的リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、様々な外部環境により先行きが見通しづらい中、原料価格の高騰、輸入仕入価格の上昇といった厳しい事業環境が続いております。そのような中、高付加価値商品の開発と安定した調達体制の構築を進めながら、企画、調達、生産、品質管理、物流までを一体で提供できる強みをさらに磨いてまいります。OEM・ODM営業を成長の柱として、事業間連携による複合提案力を強化し、お客様の課題解決により深く貢献してまいります。また研究開発体制の充実や人材育成への投資を通じて、総合支援メーカーとしての価値を高め、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,900百万円(前年同期比5.4%増)となりましたが、利益面につきましては、営業利益は195百万円(前年同期比23.3%減)、経常利益は206百万円(前年同期比22.7%減)、税務関連の会計調整により税金費用が減少したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は246百万円(前年同期比46.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売については、中東情勢の影響による供給不安や納期長期化が懸念されたものの、顧客に対して適時に情報収集を行うとともに、需要動向を踏まえた調達・供給体制の強化に努めた結果、売上は概ね堅調に推移し、販促企画案件については新規市場の開拓を継続して推進した結果前年同四半期を上回りました。OEMについては、自社工場を活用した雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は受注が引き続き好調であったものの、日用雑貨品の充填等については主力既存先からの案件減少や前年のスポット案件の反動減もあり前年同四半期を下回りました。また発送代行については、環境の変化により通数や取扱件数は前年同四半期を下回ったものの、収益認識基準の適用による売上高の影響が前年同四半期と比較して減少したことにより、前年同四半期を上回りました。

利益面につきましては、価格改定を段階的に実施したものの、市場環境や取引条件等から価格転嫁の浸透に一定の期間を要し、当四半期中に十分な効果発現に至らなかったことから減少いたしました。

その結果、売上高は2,429百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は120百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、中東情勢の悪化を背景としてごみ袋・レジ袋といったポリエチレン製品を中心とした一時的な需要増加に加え、継続的な新商品の提案活動が奏功したことにより前年同四半期を上回りました。量販店向けについては、100円ショップ向け同様ポリエチレン製品は安定した売上有り、またごみ袋の大型コンテナ案件の獲得もあって前年同四半期を上回りました。

利益面につきましては、売上高は前年同四半期を上回ったものの、為替の変動や原材料価格等の上昇に伴う商品原価の増加に対し、生産性向上やコスト削減等の施策を進めたものの、価格改定に時間を要したことで利益率が低下したことから減少いたしました。

その結果、売上高は2,528百万円(前年同期比6.2%増)、セグメント利益は74百万円(前年同期比42.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は11,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金や商品及び製品等が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円増加しました。これは主に未払法人税等や長期借入金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は5,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したものの、利益剰余金等が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,352	1,521,717
受取手形及び売掛金	2,558,794	2,234,293
電子記録債権	566,150	632,941
商品及び製品	1,727,807	1,566,862
仕掛品	198,462	246,324
原材料及び貯蔵品	548,912	486,438
その他	131,222	145,085
貸倒引当金	△4,030	△3,134
流動資産合計	6,811,671	6,830,527
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,548,013	1,539,263
その他(純額)	1,252,740	1,390,029
有形固定資産合計	2,800,754	2,929,293
無形固定資産		
その他	189,712	177,608
無形固定資産合計	189,712	177,608
投資その他の資産		
その他	1,209,486	1,248,172
貸倒引当金	△326	△326
投資その他の資産合計	1,209,160	1,247,846
固定資産合計	4,199,626	4,354,747
資産合計	11,011,298	11,185,275
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,096,772	1,101,276
短期借入金	2,030,000	2,530,000
1年内返済予定の長期借入金	292,741	262,319
未払法人税等	343,297	20,768
未払消費税等	90,645	77,526
賞与引当金	119,265	71,386
その他	432,654	647,065
流動負債合計	4,405,377	4,710,341
固定負債		
長期借入金	917,850	854,404
退職給付に係る負債	46,808	44,802
長期末払金	137,022	135,931
その他	367,200	313,088
固定負債合計	1,468,881	1,348,225
負債合計	5,874,258	6,058,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,937,942	2,913,517
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	4,404,392	4,379,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,071	313,132
繰延ヘッジ損益	840	1,948
為替換算調整勘定	444,735	431,660
その他の包括利益累計額合計	732,647	746,741
純資産合計	5,137,039	5,126,709
負債純資産合計	11,011,298	11,185,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,650,573	4,900,991
売上原価	3,515,342	3,786,187
売上総利益	1,135,230	1,114,803
販売費及び一般管理費	880,474	919,311
営業利益	254,755	195,491
営業外収益		
受取利息	52	99
受取配当金	26,045	6,026
為替差益	3,096	16,405
デリバティブ評価益	—	5,524
資材売却収入	1,426	1,231
その他	307	327
営業外収益合計	30,928	29,613
営業外費用		
支払利息	15,415	16,023
その他	3,335	2,685
営業外費用合計	18,750	18,708
経常利益	266,933	206,396
特別損失		
固定資産除却損	13,002	52
特別損失合計	13,002	52
税金等調整前四半期純利益	253,931	206,344
法人税、住民税及び事業税	66,010	12,099
法人税等調整額	19,785	△51,784
法人税等合計	85,796	△39,685
四半期純利益	168,135	246,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,135	246,029

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	168,135	246,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,507	26,061
繰延ヘッジ損益	3,507	1,107
為替換算調整勘定	△64,170	70,366
その他の包括利益合計	△51,155	97,535
四半期包括利益	116,979	343,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,979	343,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,323,637	2,326,935	4,650,573	4,650,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52,780	52,780	52,780
計	2,323,637	2,379,716	4,703,353	4,703,353
セグメント利益	125,381	129,373	254,755	254,755

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,429,326	2,471,664	4,900,991	4,900,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	56,347	56,347	56,347
計	2,429,326	2,528,011	4,957,338	4,957,338
セグメント利益	120,687	74,804	195,491	195,491

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,142千円	65,892千円